

7. 女性の働き方について

A すべての方が回答

(1) 性別に関わりなく能力に応じて活躍できる環境の整備状況

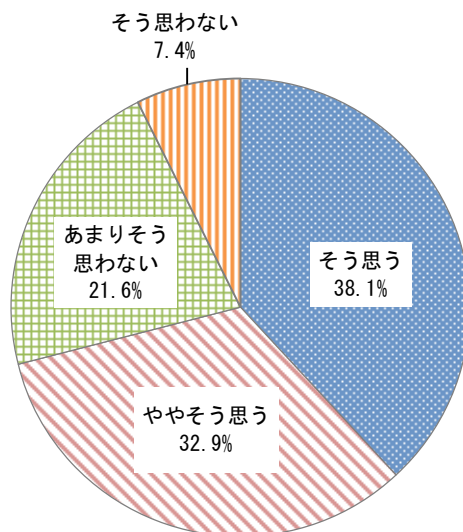
お勤めの事業所では、性別に関わりなく能力に応じて活躍できる環境が整備されていると思いますか。【○は1つ】

性別に関わりなく能力に応じて活躍できる環境の整備状況については、「そう思う」が38.1%と最も高く、次いで「ややそう思う」が32.9%、「あまりそう思わない」が21.6%の順となっている。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「そう思う」が最も高く、次いで「ややそう思う」となっており、大きな差は見られない。

業種別でみると、〈建設業〉で「あまりそう思わない」が35.4%、「そう思わない」が18.8%と、環境が整備されていないと感じる割合が高くなっている。

■ 性別に関わりなく能力に応じて活躍できる環境の整備状況〔回答数=1,452〕



【性別／業種別（性別に関わりなく能力に応じて活躍できる環境の整備状況）】

※ は第1位、 は第2位、 は第3位の項目

上段: 回答数 下段: 回答割合(%)		合計	そう 思う	やや そう 思う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
全体		1452	553	478	314	107
		100%	38.1%	32.9%	21.6%	7.4%
性別	男性	616	218	191	150	57
		100%	35.4%	31.0%	24.4%	9.3%
	女性	828	332	283	164	49
		100%	40.1%	34.2%	19.8%	5.9%
答えたくない		4	2	2	0	0
		100%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
業 種 別	農林水産業	11	1	6	3	1
		100%	9.1%	54.5%	27.3%	9.1%
	鉱業	1	0	1	0	0
		100%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	建設業	96	17	27	34	18
		100%	17.7%	28.1%	35.4%	18.8%
	製造業	87	17	36	24	10
		100%	19.5%	41.4%	27.6%	11.5%
	電気・ガス・熱供給・ 水道業	30	14	6	7	3
		100%	46.7%	20.0%	23.3%	10.0%
	情報通信業	37	15	9	9	4
		100%	40.5%	24.3%	24.3%	10.8%
	運輸業、郵便業	61	18	19	18	6
		100%	29.5%	31.1%	29.5%	9.8%
	卸売業、小売業	159	49	53	48	9
		100%	30.8%	33.3%	30.2%	5.7%
	金融業、保険業	55	18	24	11	2
		100%	32.7%	43.6%	20.0%	3.6%
	不動産業、物品賃貸 業	17	8	3	4	2
		100%	47.1%	17.6%	23.5%	11.8%
宿泊業、飲食サービ ス業	62	31	16	9	6	
	100%	50.0%	25.8%	14.5%	9.7%	
医療、福祉	358	160	132	54	12	
	100%	44.7%	36.9%	15.1%	3.4%	
教育、学習支援業	123	56	46	19	2	
	100%	45.5%	37.4%	15.4%	1.6%	
サービス業	211	78	52	56	25	
	100%	37.0%	24.6%	26.5%	11.8%	
公務	116	60	37	14	5	
	100%	51.7%	31.9%	12.1%	4.3%	
その他	20	8	8	2	2	
	100%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	

(2) 結婚・出産後も性別に関わりなく活躍するために必要なこと

女性が、結婚や出産の後も仕事を続けられ、男女が性別に関わりなく職場で活躍するために必要なことは何だと思えますか。【〇はいくつでも】

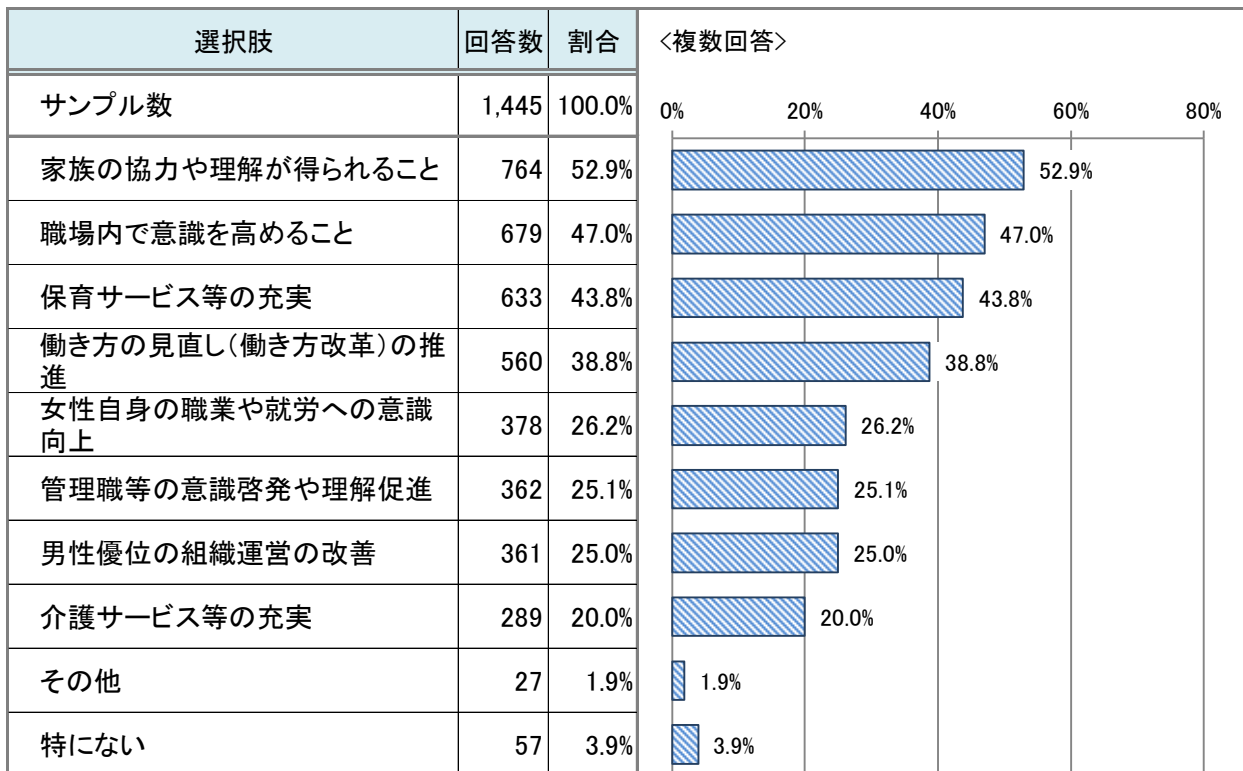
結婚・出産後も性別に関わりなく活躍するために必要なことについては、「家族の協力や理解が得られること」が52.9%と最も高く、次いで「職場内で意識を高めること」が47.0%、「保育サービス等の充実」が43.8%の順となっている。

性別で見ると、〈男性〉では「職場内で意識を高めること」が、〈女性〉では「家族の協力や理解が得られること」が、それぞれ最も高くなっている。

業種別で見ると、〈情報通信業〉、〈電気・ガス・熱供給・水道業〉、〈建設業〉で「職場内で意識を高めること」が、〈不動産業、物品賃貸業〉、〈医療、福祉〉、〈教育、学習支援業〉など13業種で「家族の協力や理解が得られること」が、それぞれ最も高くなっている。

また、サンプル数は限られるが、〈鉱業〉と〈不動産業、物品賃貸業〉では「保育サービス等の充実」についても最も高くなっている。

■ 性別に関わりなく能力に応じて活躍するために必要なこと〔回答数 = 1,445〕



【性別／業種別（結婚・出産後も性別に関わりなく活躍するために必要なこと）】

※ ■ は第1位、■ は第2位、■ は第3位の項目

上段: 回答数 下段: 回答割合(%)		合計	職場内で意識を高める	家族の協力や理解が得られること	働き方の見直し（働き方改革）の推進	男性優位の組織運営の改善	保育サービス等の充実	介護サービス等の充実	管理職等の意識啓発や理解促進	女性自身の職業や就労への意識向上	その他	特になし
性別	男性	610	307	261	217	152	251	105	155	187	12	23
		100%	50.3%	42.8%	35.6%	24.9%	41.1%	17.2%	25.4%	30.7%	2.0%	3.8%
	女性	828	368	499	341	208	378	183	206	191	15	34
		100%	44.4%	60.3%	41.2%	25.1%	45.7%	22.1%	24.9%	23.1%	1.8%	4.1%
答えたくない		4	3	2	1	1	1	0	1	0	0	0
		100%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
業種別	農林水産業	11	3	6	3	3	5	2	2	1	0	2
		100%	27.3%	54.5%	27.3%	27.3%	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%
	鉱業	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0
		100%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業	95	43	41	30	26	38	14	26	33	1	2
		100%	45.3%	43.2%	31.6%	27.4%	40.0%	14.7%	27.4%	34.7%	1.1%	2.1%
	製造業	84	44	45	20	26	34	15	18	21	4	4
		100%	52.4%	53.6%	23.8%	31.0%	40.5%	17.9%	21.4%	25.0%	4.8%	4.8%
	電気・ガス・熱供給・水道業	30	16	15	10	8	13	5	5	5	1	3
		100%	53.3%	50.0%	33.3%	26.7%	43.3%	16.7%	16.7%	16.7%	3.3%	10.0%
	情報通信業	37	23	18	14	8	13	8	11	15	1	2
		100%	62.2%	48.6%	37.8%	21.6%	35.1%	21.6%	29.7%	40.5%	2.7%	5.4%
	運輸業、郵便業	60	22	26	23	22	18	9	16	21	0	3
		100%	36.7%	43.3%	38.3%	36.7%	30.0%	15.0%	26.7%	35.0%	0.0%	5.0%
	卸売業、小売業	160	77	88	63	45	66	35	31	38	3	4
		100%	48.1%	55.0%	39.4%	28.1%	41.3%	21.9%	19.4%	23.8%	1.9%	2.5%
	金融業、保険業	55	21	25	24	16	24	9	14	21	1	1
		100%	38.2%	45.5%	43.6%	29.1%	43.6%	16.4%	25.5%	38.2%	1.8%	1.8%
	不動産業、物品賃貸業	17	8	10	8	5	10	1	4	5	0	0
		100%	47.1%	58.8%	47.1%	29.4%	58.8%	5.9%	23.5%	29.4%	0.0%	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	61	28	34	25	11	26	11	14	22	1	4	
	100%	45.9%	55.7%	41.0%	18.0%	42.6%	18.0%	23.0%	36.1%	1.6%	6.6%	
医療、福祉	360	165	210	151	64	189	84	91	82	9	11	
	100%	45.8%	58.3%	41.9%	17.8%	52.5%	23.3%	25.3%	22.8%	2.5%	3.1%	
教育、学習支援業	123	68	71	56	35	52	30	43	30	2	3	
	100%	55.3%	57.7%	45.5%	28.5%	42.3%	24.4%	35.0%	24.4%	1.6%	2.4%	
サービス業	208	90	96	78	52	75	33	53	43	2	13	
	100%	43.3%	46.2%	37.5%	25.0%	36.1%	15.9%	25.5%	20.7%	1.0%	6.3%	
公務	117	58	65	48	37	58	26	26	36	2	0	
	100%	49.6%	55.6%	41.0%	31.6%	49.6%	22.2%	22.2%	30.8%	1.7%	0.0%	
その他	18	7	9	5	2	7	5	6	5	0	5	
	100%	38.9%	50.0%	27.8%	11.1%	38.9%	27.8%	33.3%	27.8%	0.0%	27.8%	

(3) 働くうえで、女性は男性よりも不利だと思うか

働くうえで、女性であることは男性よりも不利だと思いますか。【○は1つ】

※男性の方もお答えください。

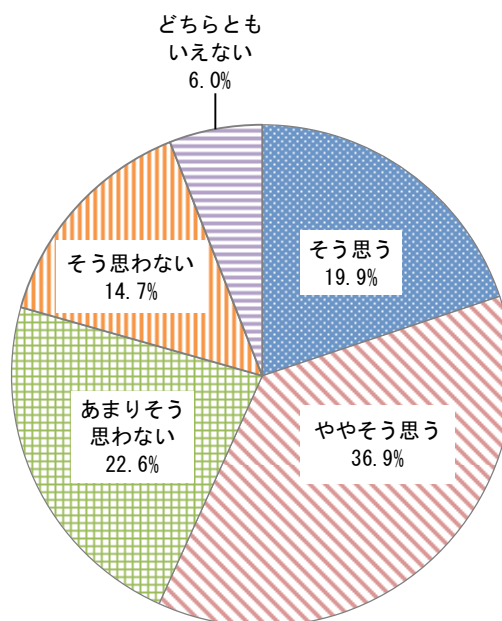
働くうえで、女性は男性よりも不利だと思うかについては、「ややそう思う」が 36.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 22.6%、「そう思う」が 19.9%の順となっている。

性別でみると、「そう思う」について<女性>が<男性>を 7.0 ポイント上回り、「そう思わない」について<男性>が<女性>を 9.0 ポイント上回っている。

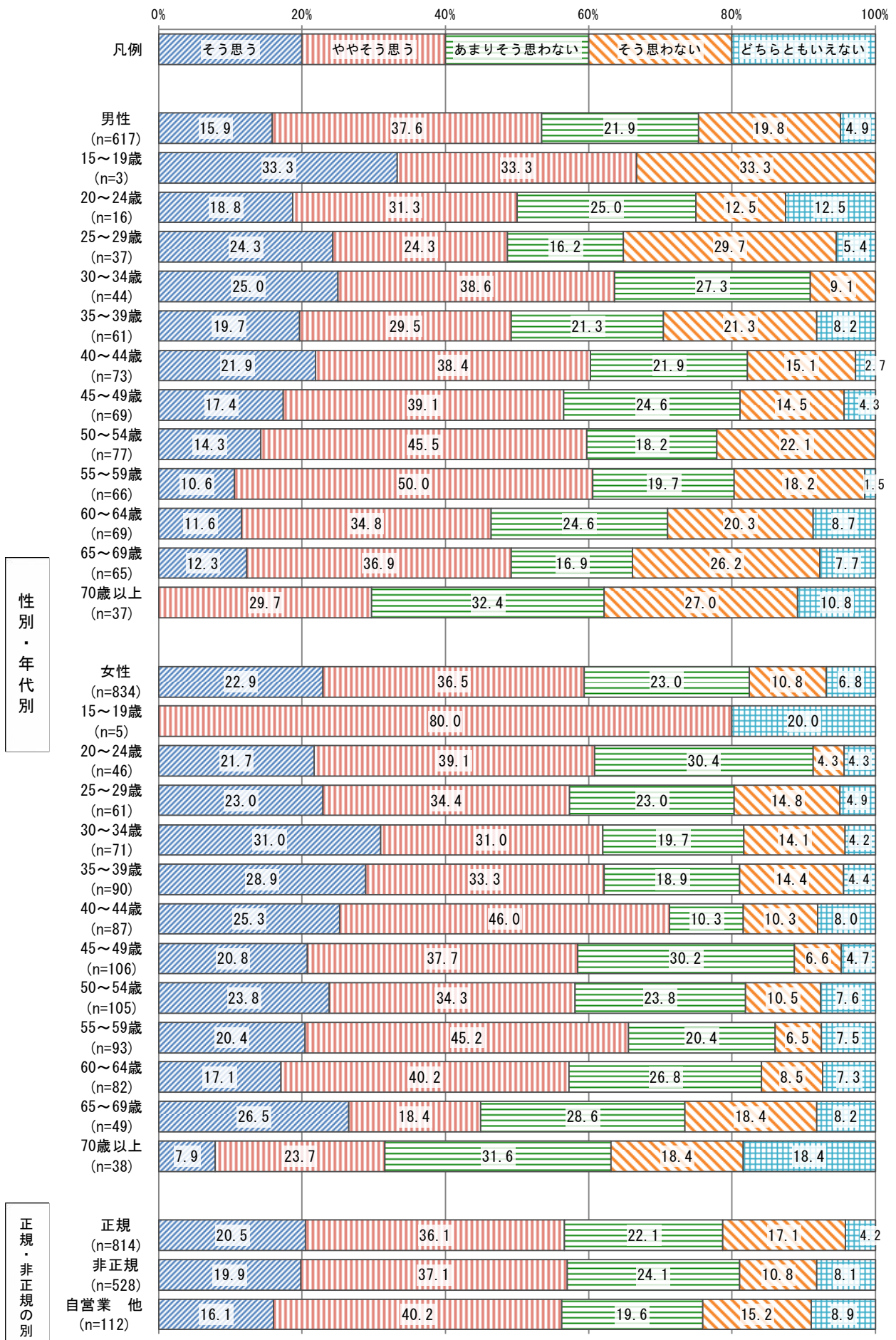
性別・年代別でみると、「そう思う」と「ややそう思う」の合計について<35～39 歳>で<男性>が 49.2%、<女性>が 62.2%、<40～44 歳>で<男性>が 60.3%、<女性>が 71.3%と、30 代後半から 40 代前半にかけて<女性>が<男性>より 11～13 ポイント高くなっている。

正規・非正規の別でみると、すべての層で「そう思う」と「ややそう思う」の合計が 56～57 ポイントと半数を超えている。

■ 働くうえで、女性は男性よりも不利だと思うか〔回答数 = 1,459〕



【性別・年代別／正規・非正規の別（働くうえで、女性は男性よりも不利だと思うか）】



(4) 不利だと思う理由（不利だと思う方のみ）

不利だと思う一番の理由は何ですか。【○は1つ】

不利だと思う理由については、「出産後に仕事を続けにくい」が44.9%と最も高く、次いで「業務が限られる」が17.4%、「給与・待遇に差を感じる」が16.6%の順となっている。

前回調査との比較では、「出産後に仕事を続けにくい」が7.4ポイント増加し、「給与・待遇に差を感じる」が4.7ポイント減少している。

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに「出産後に仕事を続けにくい」の割合が最も高いが、〈男性〉では「業務が限られる」が24.7%と〈女性〉より12.4ポイント高く、〈女性〉では「給与・待遇に差を感じる」が21.4%と〈男性〉より11.5ポイント高くなっている。

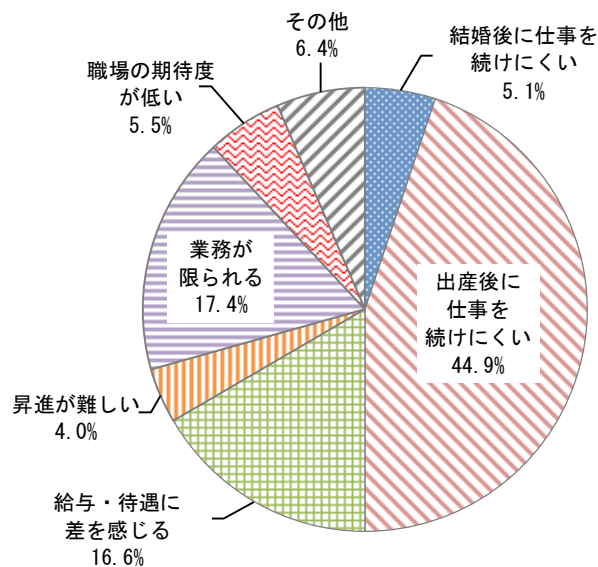
性別・年代別で見ると、〈70歳以上〉を除くすべての年代で「給与・待遇に差を感じる」について〈女性〉が〈男性〉を上回っている。

また、〈25～29歳〉を除くすべての年代で「業務が限られる」について〈男性〉が〈女性〉を上回っている。

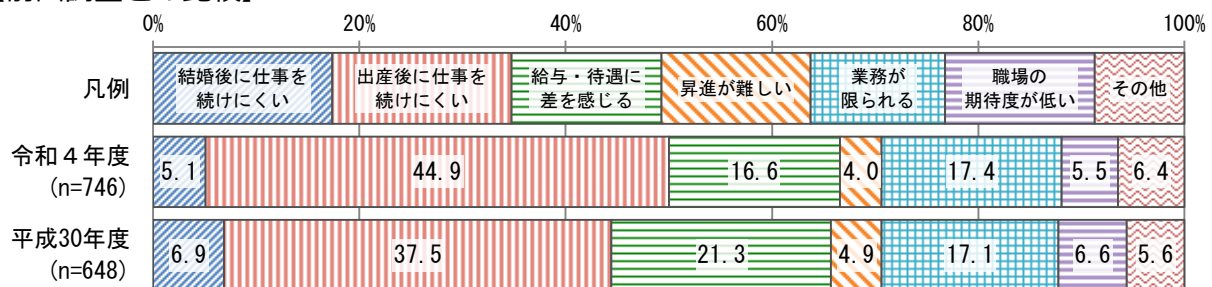
正規・非正規の別で見ると、すべての層で「出産後に仕事を続けにくい」の割合が最も高くなっている。

また、〈正規〉では「業務が限られる」が、〈自営業 他〉では「結婚後に仕事を続けにくい」が、それぞれ他の層より5ポイント以上高くなっている。

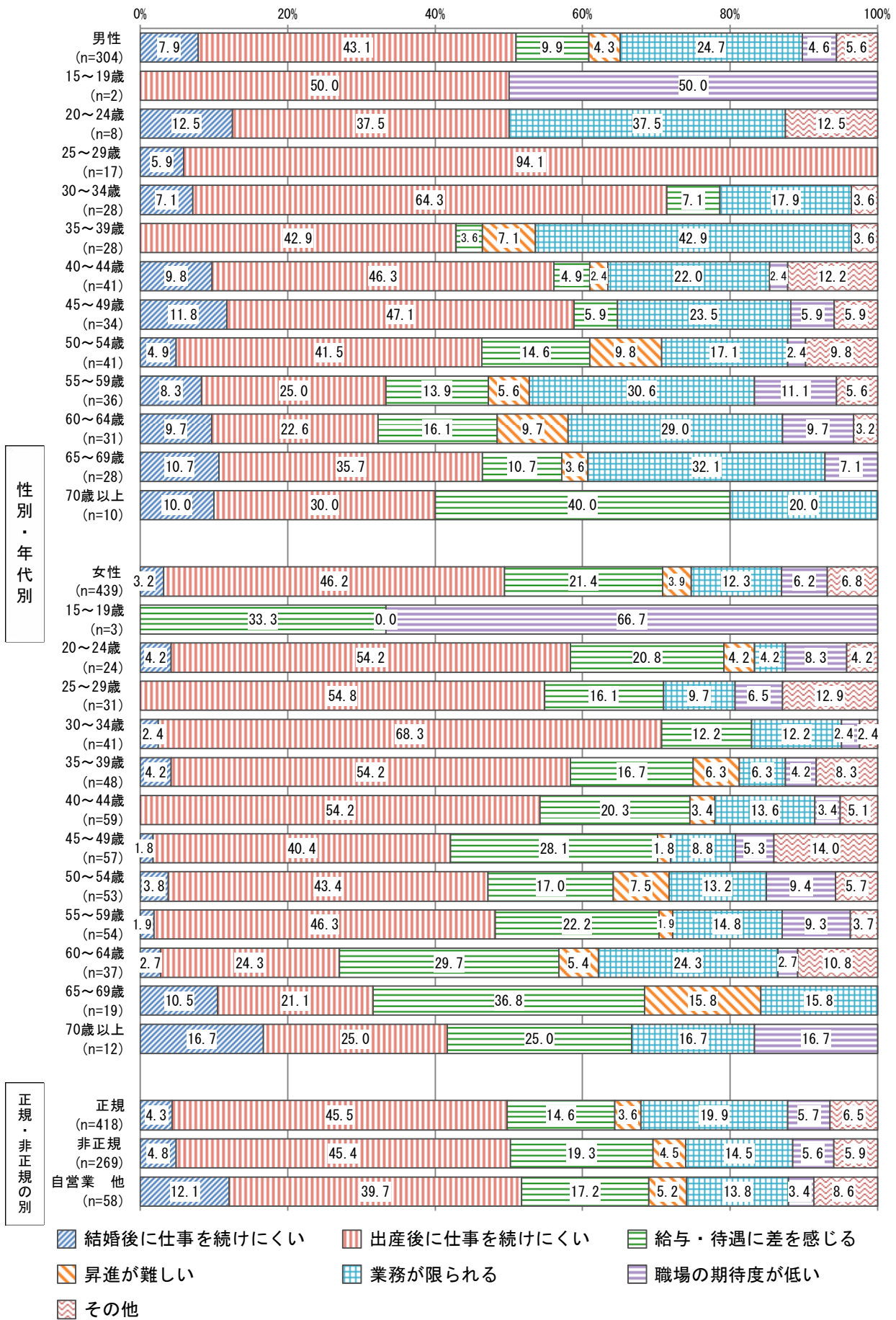
■ 不利だと思う理由（不利だと思う方のみ）〔回答数 = 746〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（不利だと思う理由）】



B 男性のみ回答

(1) 育児休業の取得意向

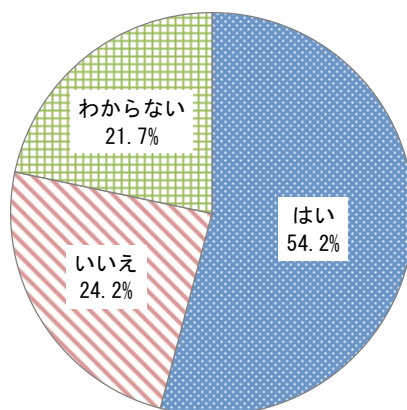
あなたは、育児休業を取得したいと思いますか。(年齢や婚姻状況にかかわらず、すべての男性がご回答ください。)【○は1つ】

育児休業の取得意向については、「はい」が54.2%、「いいえ」が24.2%、「わからない」が21.7%となっている。

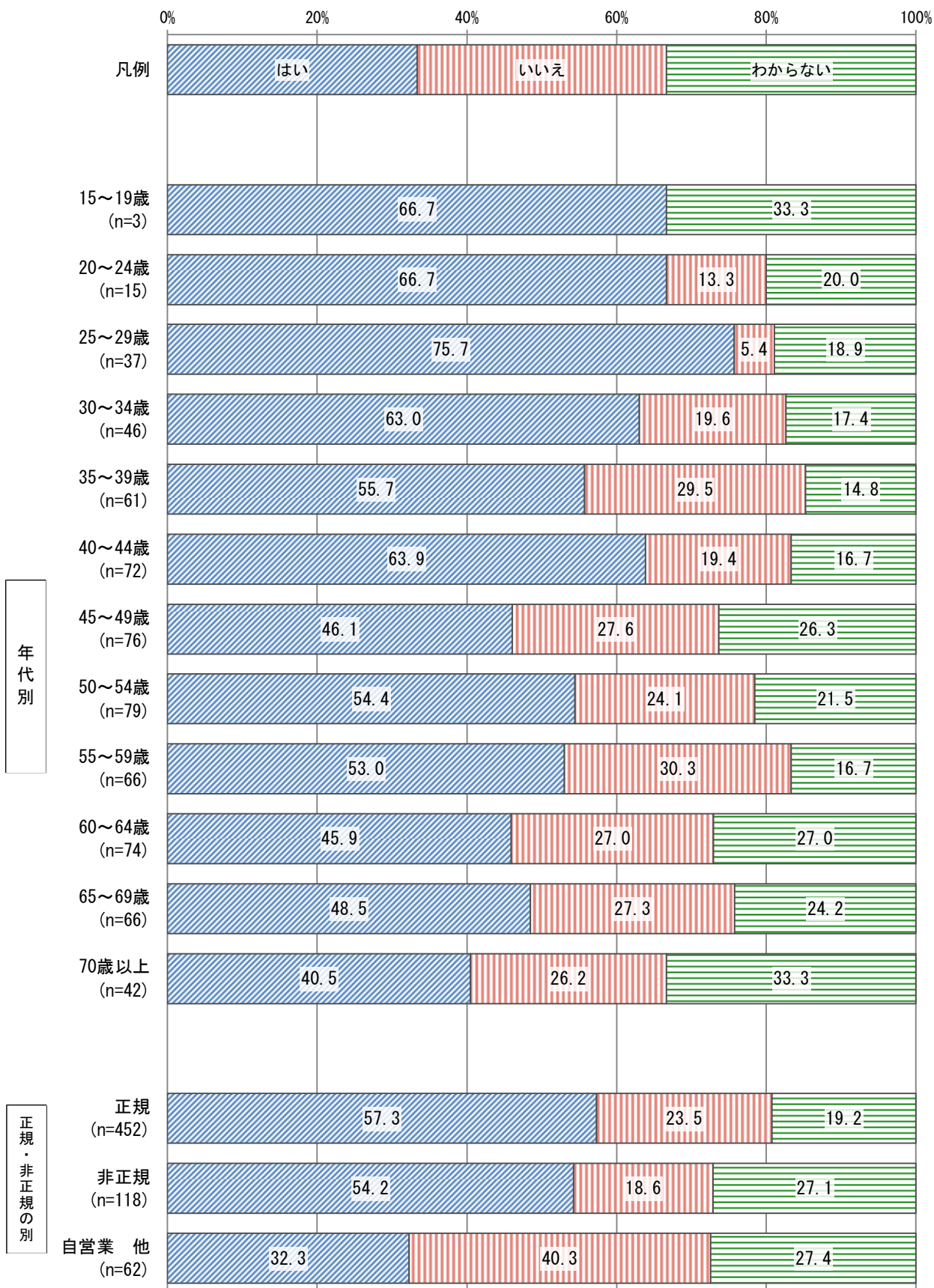
年代別で見ると、年齢層が上がるにつれて「はい」の割合が低くなる傾向が見られる。

正規・非正規の別で見ると、〈自営業 他〉で「はい」が32.3%と他の層より20ポイント以上低く、「いいえ」が40.3%と約20ポイント高くなっている。

■ 育児休業の取得意向〔回答数=637〕



【年代別／正規・非正規の別（育児休業の取得意向）】



(2) 育児休業を取得したくない理由

その理由は何ですか【○はいくつでも】((1)で「2. いいえ」と回答した方のみ)

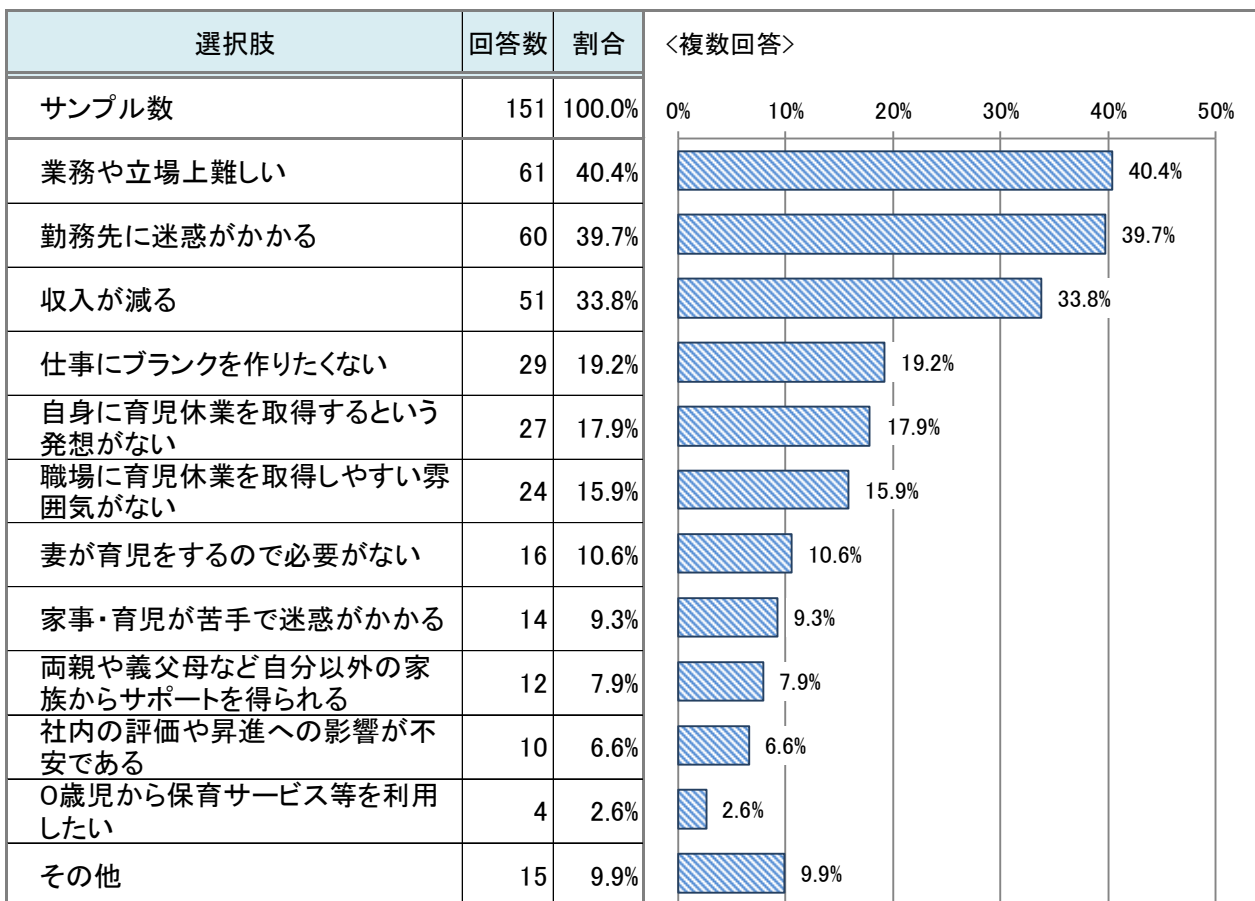
育児休業を取得したくない理由については、「業務や立場上難しい」が40.4%と最も高く、次いで「勤務先に迷惑がかかる」が39.7%、「収入が減る」が33.8%の順となっている。

年代別でみると、40～54歳の層で「仕事にブランクを作りたくない」が他の層より高くなっている。

また、〈65～69歳〉の層では「自身に育児休業を取得するという発想がない」が50.0%と他の層より高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈非正規〉で「業務や立場上難しい」が、〈自営業〉で「勤務先に迷惑がかかる」が、それぞれ他の層より15ポイント以上低くなっている。

■ 育児休業を取得したくない理由〔回答数=151〕



【年代別／正規・非正規の別（育児休業を取得したくない理由）】

※ ■ は第1位、■ は第2位、■ は第3位の項目

上段: 回答数 下段: 回答割合(%)		合計	収入が減る	業務や立場上難しい	勤務先に迷惑がかかる	社内の評価や昇進への影響	社内不安である	職場に育児休業を取得しにくい雰囲気がない	仕事にブランクを作りたくない	妻が育児をするので必要がない	自身に育児休業を取得する発想がない	家事・育児が苦手な迷惑がかかる	0歳児から保育サービス等を利用したい	両親や義父母など自分以外の家族からサポートを得られない	その他
性別・年代別	小計	151	51	61	60	10	24	29	16	27	14	4	12	15	
		100%	33.8%	40.4%	39.7%	6.6%	15.9%	19.2%	10.6%	17.9%	9.3%	2.6%	7.9%	9.9%	
	15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～24歳	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	25～29歳	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	
		100%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	9	6	6	6	2	3	1	0	1	0	0	0	0	
		100%	66.7%	66.7%	66.7%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	35～39歳	18	10	9	8	2	4	3	1	3	3	0	1	1	
		100%	55.6%	50.0%	44.4%	11.1%	22.2%	16.7%	5.6%	16.7%	16.7%	0.0%	5.6%	5.6%	
	40～44歳	14	5	8	7	2	2	5	1	3	1	1	3	1	
		100%	35.7%	57.1%	50.0%	14.3%	14.3%	35.7%	7.1%	21.4%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	
	45～49歳	21	6	12	7	1	2	8	0	4	3	1	3	1	
100%		28.6%	57.1%	33.3%	4.8%	9.5%	38.1%	0.0%	19.0%	14.3%	4.8%	14.3%	4.8%		
50～54歳	19	4	7	6	0	1	5	2	1	2	2	0	4		
	100%	21.1%	36.8%	31.6%	0.0%	5.3%	26.3%	10.5%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	21.1%		
55～59歳	20	8	6	8	2	3	2	3	1	1	0	1	2		
	100%	40.0%	30.0%	40.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	10.0%		
60～64歳	20	6	6	9	1	2	2	3	3	1	0	3	3		
	100%	30.0%	30.0%	45.0%	5.0%	10.0%	10.0%	15.0%	15.0%	5.0%	0.0%	15.0%	15.0%		
65～69歳	16	3	5	4	0	4	3	5	8	1	0	1	1		
	100%	18.8%	31.3%	25.0%	0.0%	25.0%	18.8%	31.3%	50.0%	6.3%	0.0%	6.3%	6.3%		
70歳以上	10	1	2	4	0	2	0	1	2	1	0	0	1		
	100%	10.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%		
非正規の別	正規	106	38	46	44	10	20	23	10	17	10	3	8	8	
		100%	35.8%	43.4%	41.5%	9.4%	18.9%	21.7%	9.4%	16.0%	9.4%	2.8%	7.5%	7.5%	
	非正規	21	5	5	10	0	4	2	5	4	2	0	1	3	
	100%	23.8%	23.8%	47.6%	0.0%	19.0%	9.5%	23.8%	19.0%	9.5%	0.0%	4.8%	14.3%		
	自営業 他	23	8	10	6	0	0	4	1	6	2	1	3	3	
	100%	34.8%	43.5%	26.1%	0.0%	0.0%	17.4%	4.3%	26.1%	8.7%	4.3%	13.0%	13.0%		

C 女性のみ回答

(1) 結婚・出産後の就労継続意向

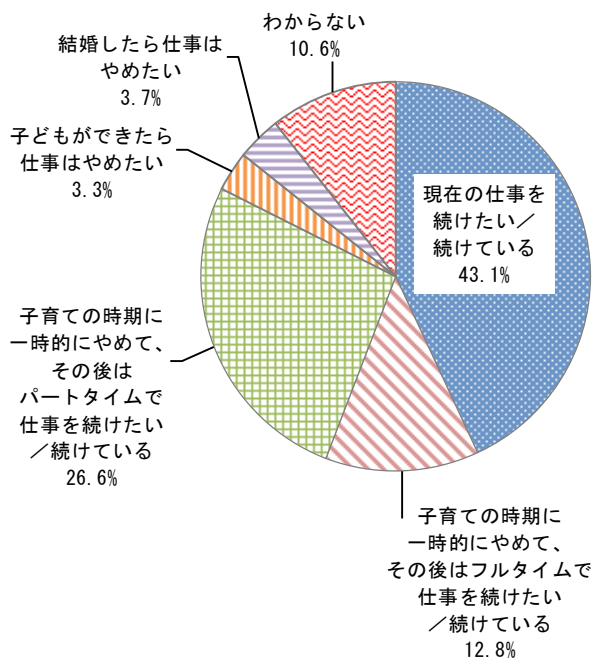
結婚・出産後も仕事を続けたいと思いますか。(年齢や婚姻状況にかかわらず、すべての女性にご回答ください。【○は1つ】)

結婚・出産後の就労継続意向については、「現在の仕事を続けたい／続けている」が43.1%と最も高く、次いで「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続けたい／続けている」が26.6%、「子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続けたい／続けている」が12.8%の順となっている。

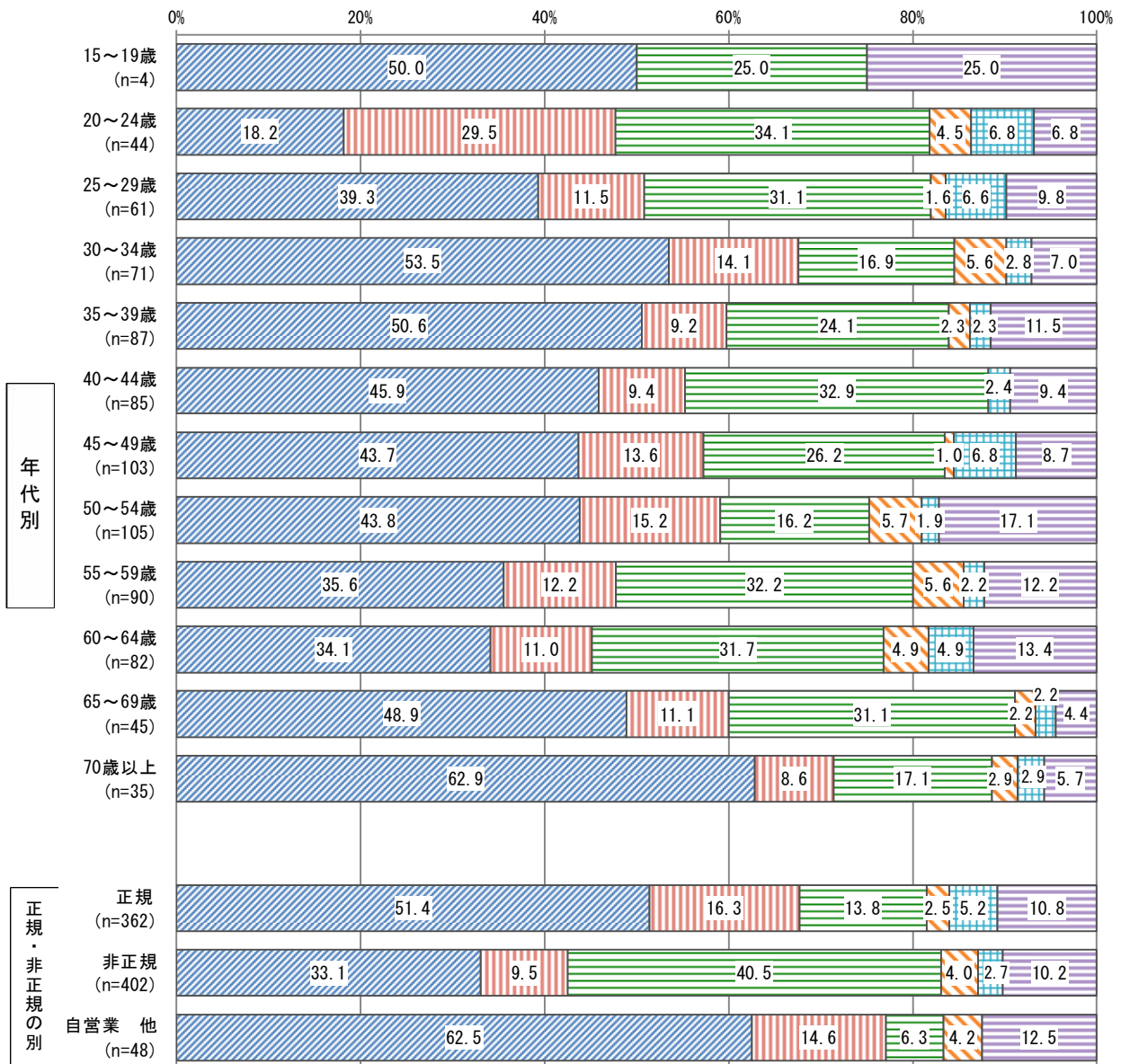
年代別で見ると、すべての年代において「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続けたい／続けている」の割合が、「子育て時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続けたい／続けている」より高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉と〈自営業 他〉では「現在の仕事を続けたい／続けている」が、〈非正規〉では「子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続けたい／続けている」が、それぞれ最も高くなっている。

■ 結婚・出産後の就労継続意向〔回答数=813〕



【年代別／正規・非正規の別（結婚・出産後の就労継続意向）】



- 現在の仕事を続けたい／続けている
- 子育ての時期に一時的にやめて、その後はフルタイムで仕事を続けたい／続けている
- 子育ての時期に一時的にやめて、その後はパートタイムで仕事を続けたい／続けている
- 子どもができれば仕事はやめたい
- 結婚したら仕事はやめたい
- わからない

(2) 仕事を続けられない(続けない)理由(仕事をやめたいを希望した方のみ)

仕事を続けられない(続けない)理由は何ですか。【○は1つ】

仕事を続けられない(続けない)理由については、「仕事と家事・育児の両立は大変」が47.8%と最も高く、次いで「家事・育児に専念したい」が26.3%、「職場の両立支援制度が十分でない」が8.0%の順となっている。

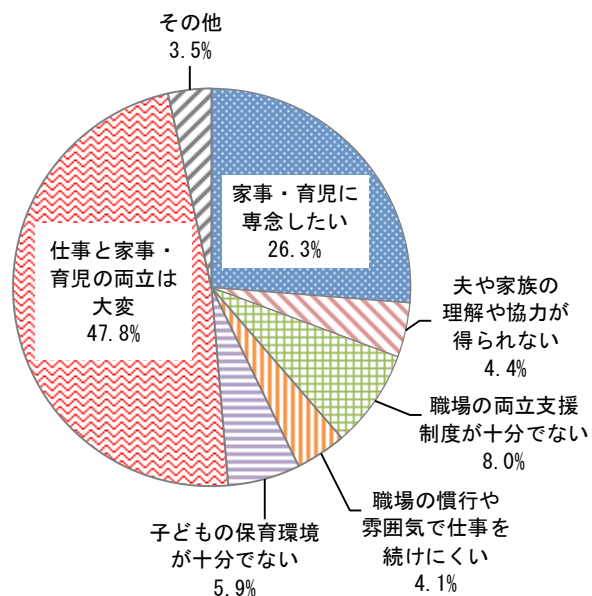
前回調査との比較では、「職場の慣行や雰囲気の仕事で続けにくい」が4.9ポイント減少している。

年代別で見ると、<20~24歳>と<30~34歳>の層で「職場の両立支援制度が十分でない」が他の層より高くなっている。

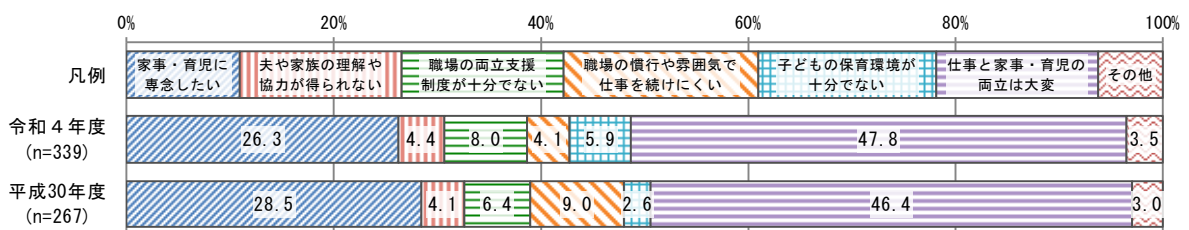
正規・非正規の別で見ると、<正規>と<非正規>では「仕事と家事・育児の両立は大変」が、<自営業 他>では「家事・育児に専念したい」が、それぞれ最も高くなっている。

また、<非正規>では「仕事と家事・育児の両立は大変」が53.6%、<自営業>では「子どもの保育環境が十分でない」が20.0%と、それぞれ他の層より10ポイント以上高くなっている。

■ 仕事を続けられない(続けない)理由(仕事をやめたいを希望した方のみ)〔回答数=339〕



【前回調査との比較】



【年代別／正規・非正規の別（仕事を続けられない（続けない）理由）】

